

熱い想いを抱く起業部

エクストリームスポーツ市場へ

崇城大学

起業意識が高い若き研究者を対象とするビジネスコンテスト「NEDO TCP 2015」の最終審査が12月9日、京都リサーチパーク（京都市）で開催され、崇城大学（熊本市）の起業部が「審査員特別奨励賞」と「EIB賞」を受賞した。

起業部では、熊野正樹准教授による「ベンチャー起業論」に触発された学生たちが「本気の起業」を目指してビジネスプランを日々討論している。それぞれのプランに共感した者でチームを構成しており、今回は芸術学部美術学科2年生・鈴木智也さん（く

まもと清陵高等学校出身）、

いずれも生物生命学部応用微生物工学科2年生の後藤みどりさん（大分県立日田高等学校出身）と安部光法さん（大分県立雄城台高等学校出身）、そして薬学部薬学科1年生・川口晴香さん（長崎県立諫早高等学校出身）の4人が参加。世界中の人々に「クワク」を与える次世代型パーソナルモビリティ「Hero Leg」を提案した。

「Hero Leg」は重心移動によりモーターを回転させる移動機器のことで、スポーツ競技を可能にするだけの耐久性

と俊敏性を備えている。特に、既存の類似製品とは異なって両足にモーターを装着させることで、複雑な動きにも対応が可能だ。イベントや大会の企画運営を目指すほか、コンテンツ市場での展開も見据えているという。

最終審査に至るまでには、メンターや起業家による投資法やリスクヘッジを吸収するなど、さまざまな研修を積んだ。全日程を英語で討論する「起業教育プログラム」では最先端のイノベーション・ノウハウを学んだ。

後藤さんは「幼い頃、スーパーヒーローに憧れていた夢を原動力とし、私たちのヒーロー像を近未来的な力たちにしました。一層のスピード感を持って世界にイノベーションを巻き起こしていきたいと思えます」と、熱く語った。

『大學生新聞』第127号（平成28年1月10日発行）掲載